令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立西淡路小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区　　名	東淀川区
学　校　名	大阪市立西淡路小学校
学 校 長 名	赤江　伸吾

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和８年４月に、６年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

１　調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査内容

(1)　教科に関する調査

・国語

・算数

(2)　質問調査

・児童に対する調査

・学校に対する調査

３　調査の対象

・国・公・私立学校の小学校第６学年の原則として全児童

・大阪市立西淡路小学校では、第６学年　56名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立西淡路小学校の結果概要

今年度は、国語科において平均正答率が54%となり、大阪市の平均を5ポイント、全国の平均を6.9ポイント下回る結果となった。また、算数科においては平均正答率が47%となり、大阪市の平均を9ポイント、全国の平均を9.4ポイント下回る結果となった。両教科ともに、基礎的・基本的な知識や技能の定着に加え、身に付けた知識を活用して考えたり、自分の考えを表現したりする力に課題が見られる。今後は、児童一人ひとりのつまずきを把握し、基礎学力の定着を図るとともに、主体的に学習に取り組むことができる授業づくりを進めていく必要がある。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】平均正答率は54%で、全国平均を6.9ポイント下回る結果となった。内容別に見ると、「読むこと」は62.5%で、全国平均を3.4ポイント下回っているものの、比較的高い正答率となっている、一方、「書くこと」は35.7%で、全国平均を10ポイント下回っており、特に課題が見られる。また、「情報の扱い方に関する事項」についても43.8%と、全国平均を8.5ポイント下回っている。これらの結果から、文章の内容を読み取る力だけでなく、必要な情報を整理し、それらを関連付けながら自分の考えを文章にまとめる力を育成していく必要があると考える。日頃の授業において、文章を書く機会や、自分の考えを友だちに伝え合う活動を充実させるとともに、情報を比較・整理し、目的にに応じて活用する力を高めていくことが大切である。
【算数】平均正答率は47%で、大阪市や全国の平均を大きく下回る結果となった。領域別に見ると、「測定」は76.8%、全国平均をとの差は、1.3ポイントと比較的良好な結果であった。一方、「変化と関係」は28.0%、全国平均を13.1ポイント下回っており、最も課題が大きい領域となっている。また、「図形」は43.3%、「データの活用」は42.0%、「数と計算」は、50.7%で、いずれも全国平均を下回っている。特に、数量の関係を捉えたり、問題場面を式や図に表したりして考える力に課題があると考えられる。基礎的な計算技能の定着を図るとともに、具体物や図、表、グラフなどを効果的に活用し、児童が数量の関係を視覚的・具体的に捉えられるような授業づくりが必要である。

質問調査より

「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」という項目では、約80%での児童が肯定的に回答しており、いじめを許さないという意識は一定程度育まれている。一方で、実際の学校生活では、友だち同士のSNSのトラブルや相手の気持ちを考えた言動など、課題も見られる。いじめを許さないという意識を実際の行動につなげられるよう、日々の人権教育や学級づくりを通して、互いを認め合い、安心して過ごせる学校づくりを進めていく。また、「自分には、よいところがありますか」という項目では、大阪市や全国の平均を下回っており、自分のよさに気づき、自信を持つことができるような取組が必要である。

今後の取組（アクションプラン）

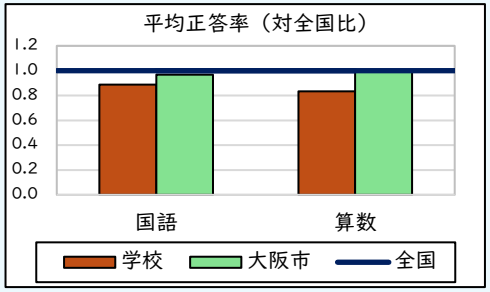
国語科においては、自分の考えを文章にまとめたり、必要な情報を整理して活用したりする力の育成に取り組んでいく。算数科においては、児童一人ひとりのつまずきに着目した研究を進め、その要因を分析し、基礎学力の定着をめざしていく。
児童質問紙では、自己肯定感に課題が見られた。一人ひとりのよさや頑張りを認め、子どもたちが自分の成長や可能性に気づくことができる機会を大切にしていく。また、互いのよさを認め合い、誰もが自分らしさを発揮できる安心して過ごせる学校づくりを進めていく。

AI

令和８年度　全国学力・学習状況調査　教科に関する調査結果の概要

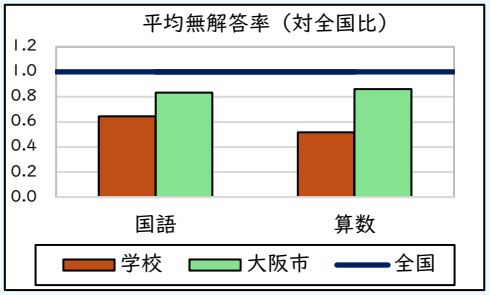
平均正答率（%）

	国語	算数
学校	54	47
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



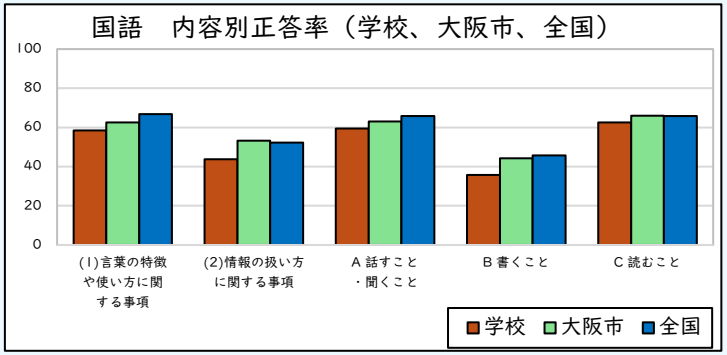
平均無解答率（%）

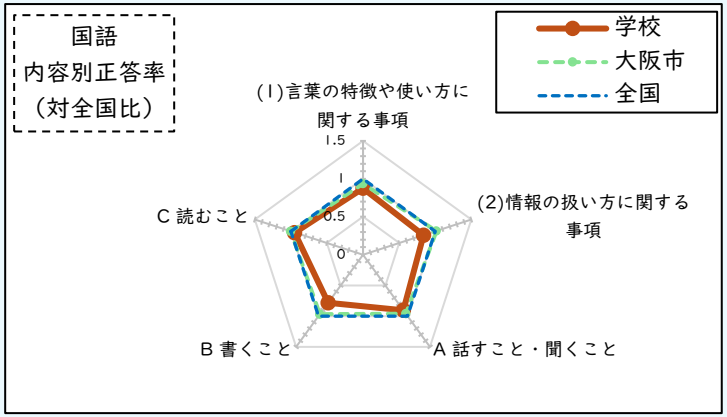
	国語	算数
学校	2.2	1.7
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



【国語】内容別正答率

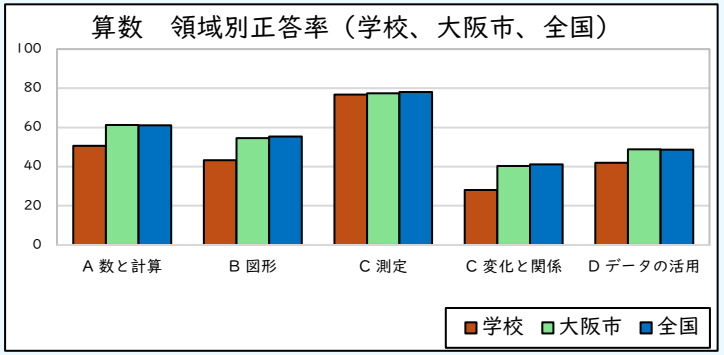
学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	58.5	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に関する事項	2	43.8	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	－	－	－
A 話すこと・聞くこと	3	59.5	63.1	65.8
B 書くこと	2	35.7	44.2	45.7
C 読むこと	2	62.5	66.0	65.9

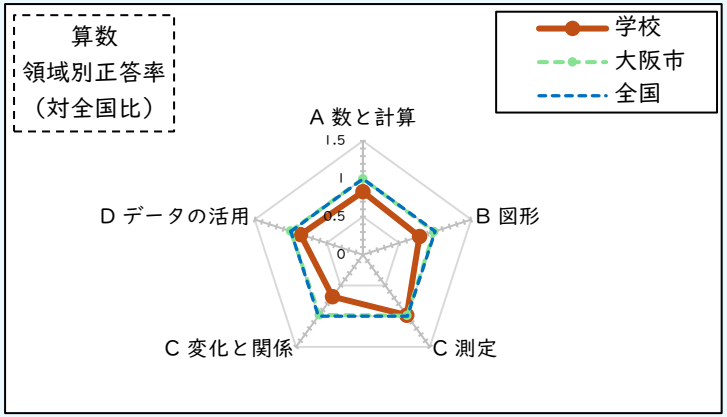




【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	50.7	61.2	61.1
B 図形	4	43.3	54.5	55.3
C 測定	1	76.8	77.5	78.1
C 変化と関係	3	28.0	40.3	41.1
D データの活用	4	42.0	48.8	48.6

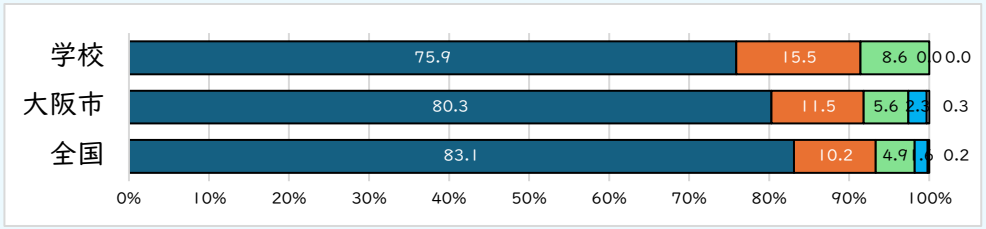


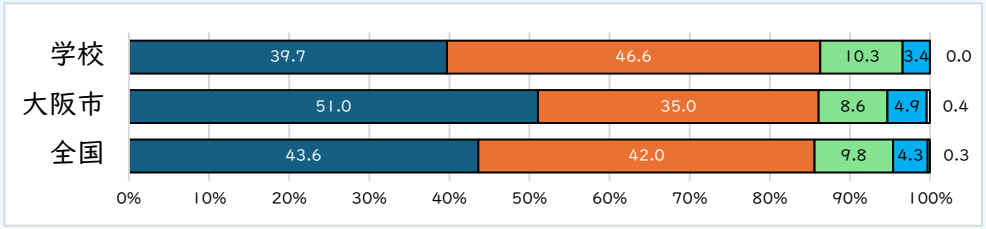


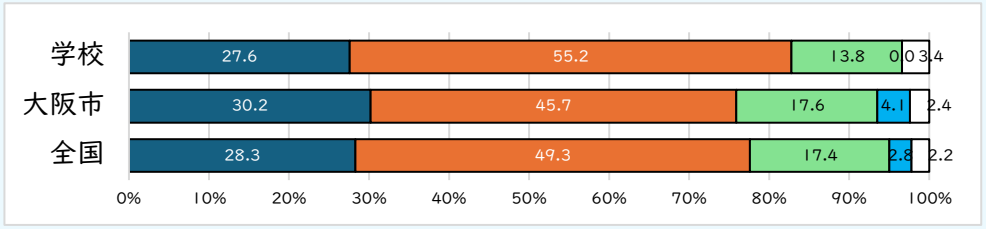
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より（１）

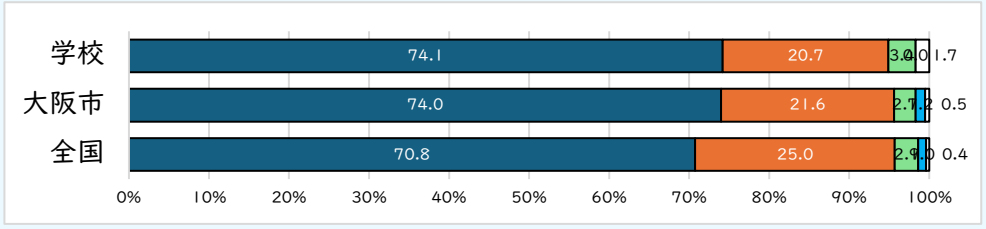
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

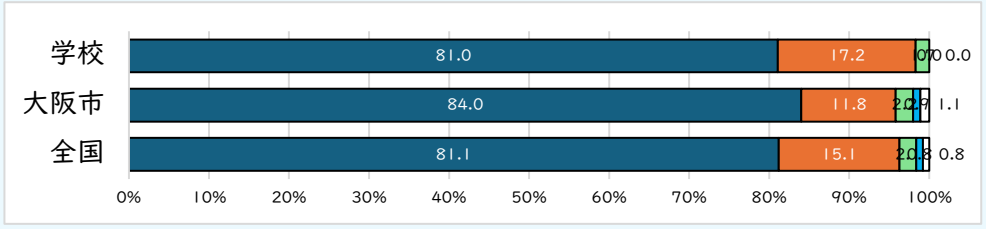
質問番号	質問事項
（１）	朝食を毎日食べていますか
（８）	自分には、よいところがあると思いますか
（３９）	５年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
（１４）	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
（１２）	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか







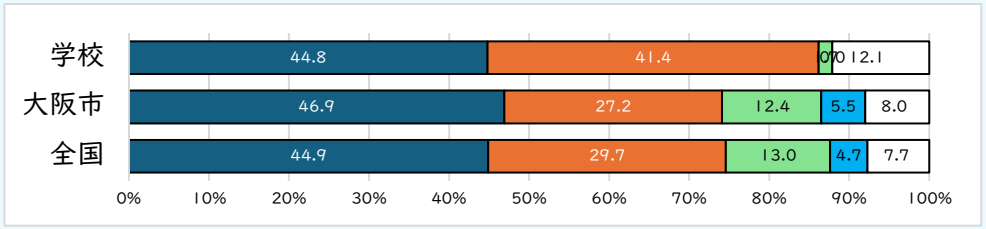




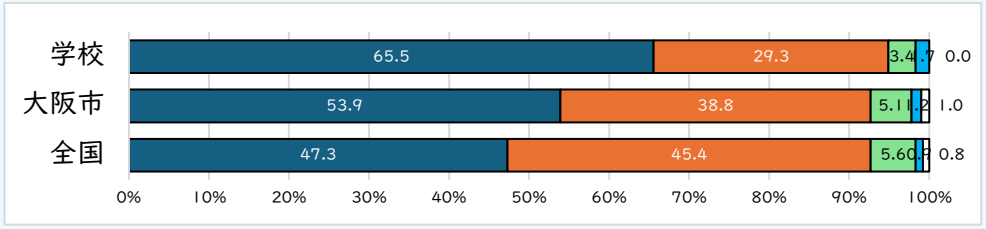
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より（２）

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

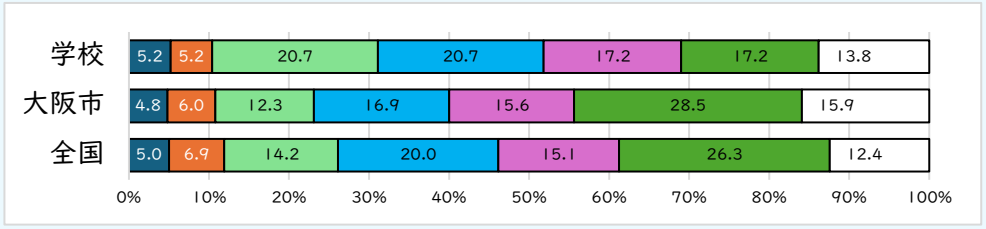
質問番号	質問事項
（36－4）	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか
（11）	人が困っているときは、進んで助けていますか
（26）	学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
（15）	学校に行くのは楽しいと思いますか
（9）	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



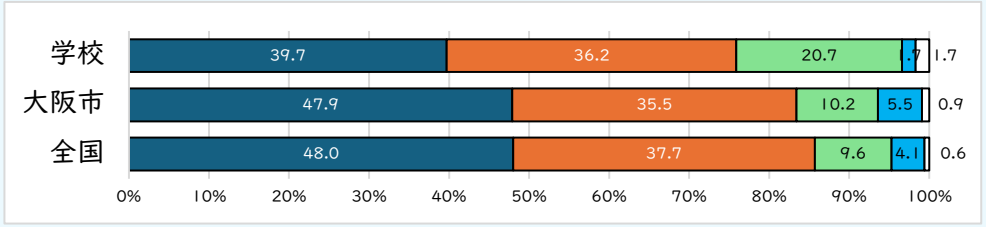
1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない



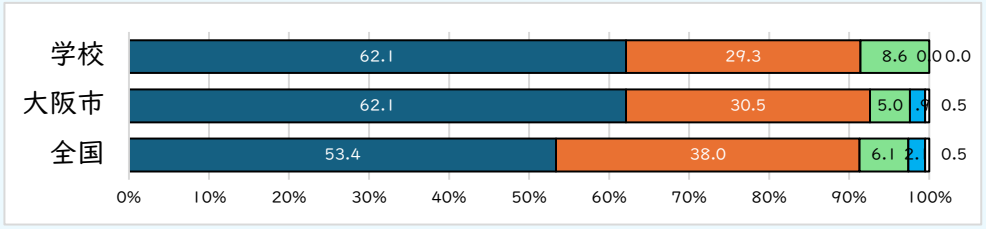
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



1 ２時間以上
2 １時間以上、２時間より少ない
3 ３０分以上、１時間より少ない
4 １０分以上、３０分より少ない
5 １０分より少ない
6 全くしない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



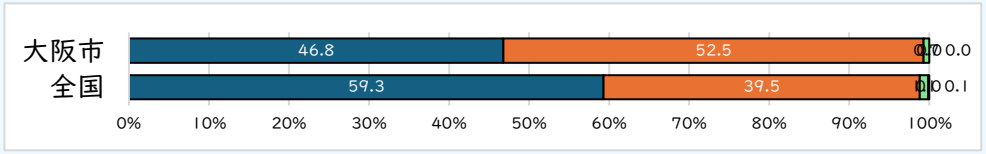
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

令和８年度全国学力・学習状況調査　学校質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

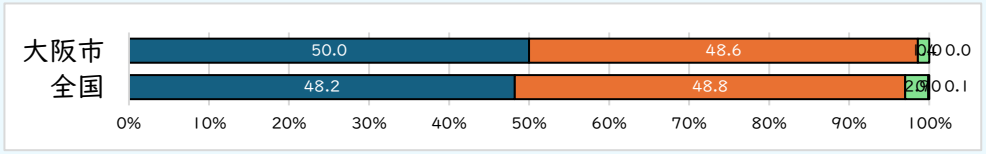
質問番号	質問事項
（11）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか
（52）	調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、授業で、学習上つまずいた児童に対する対応を行えていましたか
（81）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか
（26）	調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか
（59）	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか

【学校の回答】　2　どちらかといえば、行った



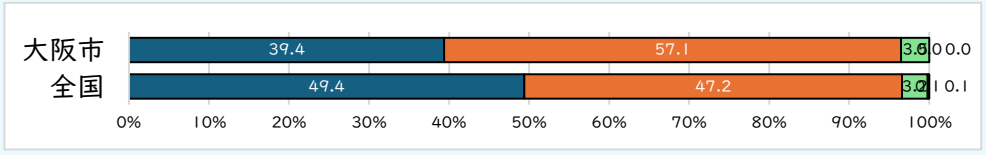
1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

【学校の回答】　1　よく行えた



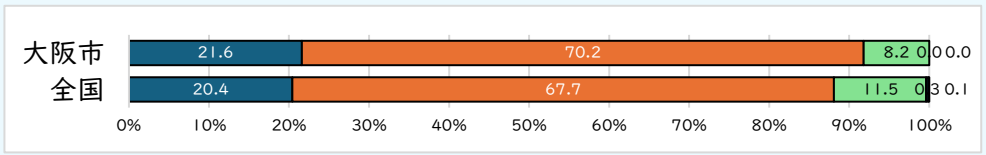
1 よく行えた
2 どちらかといえば、行えた
3 あまり行えなかった
4 全く行えなかった

【学校の回答】　1　よく行った



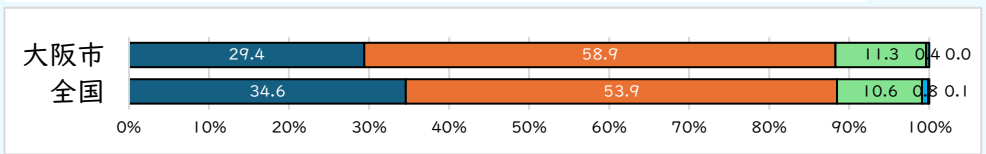
1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

【学校の回答】　2　どちらかといえば、そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

【学校の回答】　1　そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない